

議案審議

27年度決算を
認定

3日間にわたり
延べ217件の質疑
4日目に議員間討議



今回の議会には、平成27年度一般会計・各特別会計の決算認定議案が上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成13名、反対2名で、また、各特別会計については全会一致で認定しました。

会計名	歳入	歳出
一般会計	134億1,874万6,980円	130億9,183万4,507円
国民健康保険	47億749万4,688円	46億7,982万2,852円
駅西土地区画整理事業	8億6,477万3,498円	7億9,244万6,882円
下水道事業	10億401万2,910円	9億6,873万6,277円
介護保険	20億3,952万3,596円	20億1,147万3,273円
後期高齢者医療	5億8,995万9,555円	5億7,674万1,629円
殿ヶ谷財産区	669万3,453円	556万4,125円
石畑財産区	5,943万4,938円	5,513万6,648円
箱根ヶ崎財産区	872万8,924円	653万9,773円
長岡財産区	161万5,510円	130万3,486円

反対
大坪 国広 議員
27年度は、消費増税の影響、社会保障費の削減と負担増で貧困と格差が深刻となった。介護保険制度の改定により、一定所得の介護サービス利用者が負担が倍加の2割、所得の低い施設入居者の食費や部屋代補助に資産要件が導入され利用者に厳しい制度となった。保険料・利用料に町独自の軽減策、在宅寝たきりの人達に手厚い支援策を実施すべきであった。子育て支援策として、子ども医療費完全無料化や町の西側地区に児童館を検討すべきであった。栗原地区の区画整理は、新駅構想の見通しがつくまで凍結すべきであった。景観モニタメントは、設置に対する住民批判強く、町民との合意形成を図るべきであった。

**議案第63〜72号
決算特別委員会で審査**
町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に小山典男議員、副委員長に原隆夫議員を選出。議長、議会議長選出監査委員を除く14名により、3日間にわたって審査を行い、4日目に議員間討議を行いました。一般会計では、前年度と比較して歳入で6億2,055万9,157円(4.29%)の減、歳出では6億4,214万4,696円(4.68%)の減となっています。

討論(要旨)

賛成
原 隆夫 議員
26年度に引き続き黒字決算となり、健全な財政運営がなされたと評価する。歳入では、町税の収納率も向上し、担当課の努力が伺える。家庭芝生化学業を都の補助金で賄うなど、都や国の補助金を上手に活用した財政運営も評価できる。歳出では、27年度主要施策として32施策が実施された。学童保育クラブの運営がNPO法人に受託され延長保育も実現、フューチャースクールが開講され学力向上が期待されること、平和事業の推進として戦争体験記録映像の作成など、目標とした成果を上げられたものと考え、今後とも堅実な財政運営を念願する。

pick up 1

議案第52号

新しい三小小学童保育クラブが誕生

瑞穂第三小学童保育クラブ建設工事請負契約を可決

現在、2つの施設に分けて行っている瑞穂第三小学童保育クラブの機能を集約化し、児童への質の高い保育の提供、待機児童の解消、児童や保護者の方々の利便性向上を図るため新たに施設の建設を行うものです。



契約金額：1億800万円
(落札率 95.7%)
契約相手：日東工営株式会社
工期：平成29年3月31日

- Q 駐車場8台分設置とあるが必要性は。また、外で子どもが遊ぶスペースは確保されているか。
- A 7割位の保護者が車で迎えに来るため、路上駐車防止を考慮し設置した。外遊びは二本木公園で出来ると考えている。
- Q 近年、記録的な豪雨が頻発しているが、冠水対策は。
- A 建物は高所の設計となっている。

- Q 今回の指名業者選定の基準は。
- A 資本金・自己資本比率・売上高などの経営状況と過去7年間の受注状況も確認し、6者を指名した。
- Q 現在の学童クラブはNPO法人の運営だが、現場の声が設計に反映されているか。
- A 安全性を考慮し、駐車場を通らないで外遊びの公園に行けること、外への手洗い場や足洗い場の設置、シャワールームの室内設置などの要望を勘案している。